

世界史研究推進委員会

研究テーマ

「イスラーム世界の教材化」経過報告

県立横須賀工業高校 松 木 謙 一

本委員会では、前年度に引き続き「イスラーム世界の教材化」を研究テーマに掲げいろいろな角度からイスラーム世界にアプローチしています。最近、研究報告及び教材・資料（本委員会では「おみやげ」と称しています）が多く出されており、発表時間が足りなくなっています。また、県内では、地歴科・公民科において自分の専門科目のプロパーでいられる場合は少なく、さまざまな科目をやらなければなりません。このことから、日本史はもとより地理や公民の先生方も本委員会に参加され、あたかもこの委員会が「社会科学」を演出している観があります。そして、本委員会からも他の委員会へ積極的な交流を行っており、科目の壁を超えながら新たな視点を探求しています。さらに本委員会の一部のメンバー及び小・中学校の先生方で、小中高連携の教材研究も始めており、激動する教育界において積極的な対応をはかっております。

本年度は7回の会合（このうち日本史・世界史合同の会合2回）をもち、発表されるものは以下の通りです。

「イスラームと都市」「フランク王国の形成と拡大」

（古川寛紀 上郷）
（川口英一 川崎）

「真実は、一つ」の筈
「イランの過去・現在・未来」・「講演（大塚和夫）『イスラームの

グローバル・ネットワーク』より」・「イラン系民族のヨーロッパにおける活動について（大久間慶四郎）に関して」

「神話まみれの戦史」
（小林克則 湘南）
（根岸洋史 平塚農）

「『三大陸周遊記』（イブン・バトゥータ）の教材化私案」

（岡田 健 新羽）
「日本とは何か」
（石橋 功 水取沢）

「伝説の巨鳥たち」
（松木謙一 県横須賀工業）
「イスラームをどう扱うか」地理の視点でとらえたイスラーム」
（比佐隆三 厚木商）

「アジアから見た西洋政治思想・制度」
（杉山 登 逗子開成）
「青年トルコ人の革命とオスマン帝国滅亡」
（智野豊彦 横浜市立戸塚）

「ポピュラー音楽から考える東地中海」
（手塚優紀子 磯子）

「イスラーム世界の歴史のとらえ方」
（西浜吉晴 長後）

「海のアジア史」諸文明の『世界Ⅱ経済』（小林多加士）」
（荒川 宏 光陵）

本年度、次の学校を会場として使用させていただきました。校名を記して感謝の意を表します。

湘南（七月・一〇月・二〇〇〇一年二月）

新羽（四月・十二月）

大井（八月）

鎌倉学園（六月）